

歳入総額 32 億円

歳出総額 31 億円 決算認定

◇一般会計決算（歳出）
 歳出では、全体で2億6089万円の増加になりました。歳出1位を占める総務費では、基金積立金、庁舎・開発センター耐震補強事業等により、前年より1億4145万円の増加となりました。また、スキー場第1ペアリフト主減速機等改修工事（商工費）、南蔵王大橋耐震補強工事（土木費）、関班消防詰所新築工事（消防費）、スクールバスの購入（教育費）など各種事業が実施されました。借金返済に充たる公債費は、1333万円の減少となりました。

歳出の経費別構成の状況は、人件費・扶助費・公債費といった簡単に減らすことができない義務的経費が前年より2.2%の減少となったほか、建設事業等の投資的経費が126.7%の増、その他の経費が4.8%の増となっています。

このほか、地域情報通信基盤整備事業など32事業、総額2億5622万円が22年度へ繰越となりました。

◇一般会計決算（歳入）
 前年との比較では、全体で2億6902万円増加しました。町税の収入は、法人税・ダム交付金が減収となったため、前年との比較では、1743万円が減少となっています。また、町税の未納額は、22%減少し、1247万円となりました。一方、地方交付税は、2867万円の増加となり、歳入全体の4割を占めています。地方交付税を含む依存財源は、歳入全体の65.6%となっています。

借入金に充たる町債は、2601万円の増加となりました。

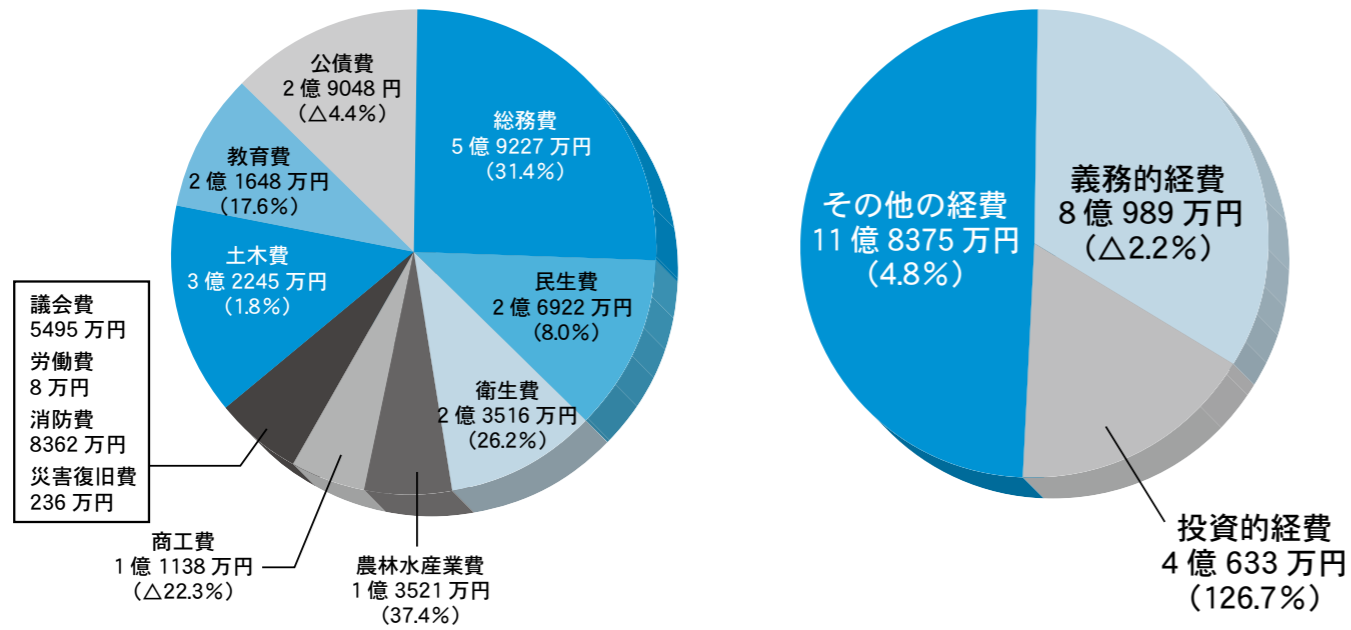
第3回定例会は、平成21年度の決算を審査するため決算特別委員会を設置しました。3日間にわたり一般会計・特別会計を審査した結果、いずれも原案どおり認定しました。

平成21年度の決算歳入・歳出総額は、一般会計と特別会計を合わせて、歳入32億4186万円、歳出31億4115万円となり、歳入で3.15%、歳出で3.4%それぞれ増加しました。

歳出23億1366万円

経費別構成比率

※千円単位以下調整
 (%) は、前年との増減率
 △はマイナス



公債費（借金）残高 29億2520万円（▲7.4%）

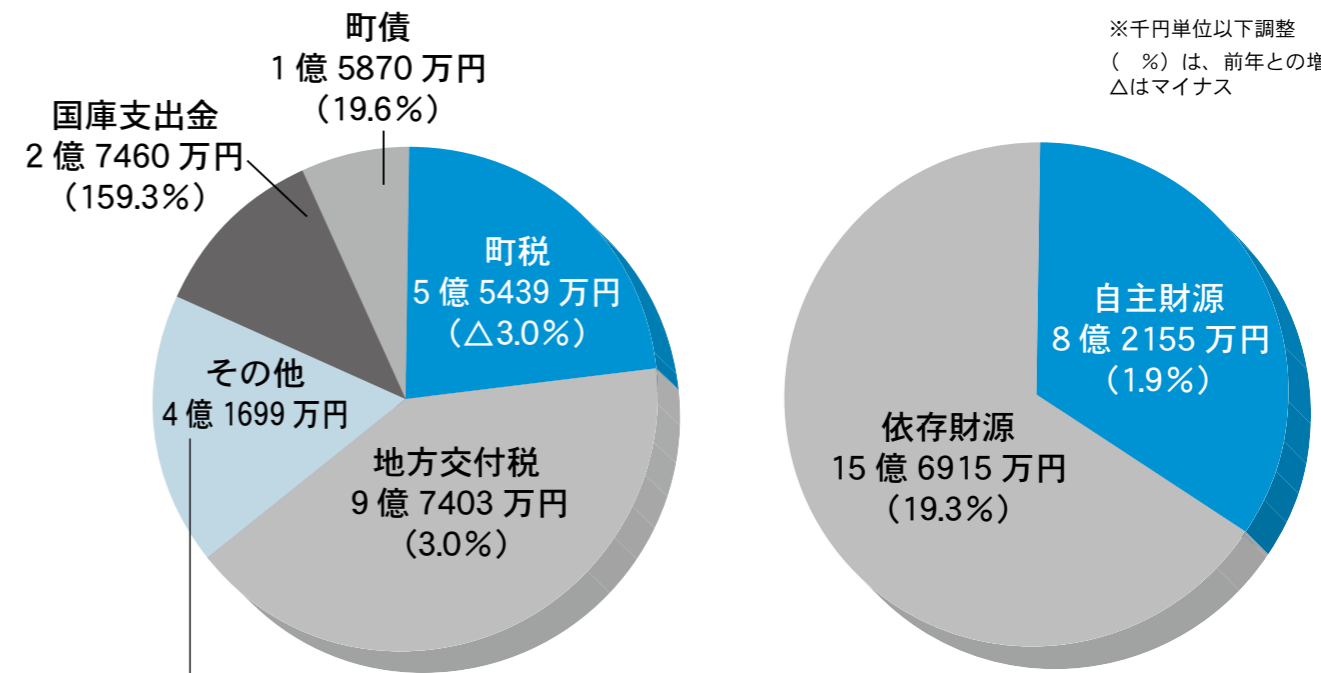


※普通会計 一般会計、町営バス特別会計
 ※特別会計 国民健康保険特別会計（直診勘定）、簡易水道特別会計、公共下水道特別会計

歳入23億7871万円

財源の構成

※千円単位以下調整
 (%) は、前年との増減率
 △はマイナス



地方譲与税	3480万円
交付金	3217万円 (利子割・外5項目)
分担金及負担金	346万円
使用料及び手数料	2498万円
県支出金	8102万円
財産収入	990万円
寄附金	25万円
繰入金	1億3125万円
繰越金	3692万円
諸収入	6224万円